

会報

No. 34

平成6 ('94)年10月5日

京都府図書館等連絡協議会

事務局

京都市左京区岡崎成勝寺町9
京都府立図書館内
TEL(075)771-0069

よりよい図書館づくりを

亀岡市立図書館長 高向 洋祐

本年度より、橋本實前会長さんの後を引継ぎまして会長職の仕事をさせていただいておりますが、前会長さんが立派な方であつただけにその責任の重大さを痛感しております。

近年、図書館は生涯学習の場として見直され、全国的に整備される図書館が急増しておりますが、反面、気にかけていても市町村の財政事情から整備できないなど、様々です。

府内の図書館関係で働いている皆様方もそれぞれの職場において色々と悩みを抱えておられると思います。

「資料があつて、職員がいて、施設がある」図書館を整備するための予算をどのように確保するか、他の図書館とどうネットワークするか、読書離れの傾向にあるといわれる人々をどのように図書館に引きつけるか、図書館の未来をどうするか等、問題は山積していると思います。図書館等連絡協議会会則でも、協議会の目的は事業等の振興および相互間の協力をかかることとなっていますので、そうした問題や悩みが一つでも解消できるように話し合つたり研究できる場を設ける必要があると考えてい



かなければならぬと考えます。私は図書館に勤めて五年余りにすぎませんが、会員の皆様方の御意見等を参考に今後の協議会の運営に生かしたいと思っております。図書館に関わる問題点、情報等をお寄せいただき、御一緒に検討を行いよりよい図書館作りを目指して共に頑張りたいと考えています。

亀岡市も、図書館情報ネットワークシステムの指定を受けシステム作りに取組んでおります。この方面についても皆様方の御支援をよろしくお願いします。

――予告――

第三回京都図書館大会

館種を越えて京都の図書館職員が集う年に一度の場です。

テーマ

図書館利用のさらなる発展をめざして

日 時 十二月一日（木）

十三時～十六時半

場所 同志社大学今出川校地

主催 京都府図書館等連絡協議会
日本図書館協会

一九九四年度定期総会開催

平成六年度京都府図書館等連絡協議会総会を六月十七日（金）に京都

府立図書館を会場に開催しました。
出席は二十九館（他に委任状十三
館）で平成五年度会務報告・収支決

算、平成六年度事業計画（案）・予
算（案）が承認されました。

総会では、「資料の相互貸借実施
承諾館」以外の施設への貸出をすべ
きかどうか、との質問が出され、依
頼を受けた館の判断に委ねている旨
の説明を行いました。

意見としては、

①未加盟館の加盟促進。
②日団協評議員会への参加旅費も会

長館の負担となっており、当該館の
旅費を圧迫し、これまでにも職員が
研修にも参加できない状況が生じて
いるので旅費を増額されたい。

③本協議会の略称を「京岡連」に統
一してはどうか（「京岡連」は「京
庫連」とまぎらわしいため）。
との意見が出され、旅費の増額につ
いては、第二回理事会で、略称につ
いては来年度の総会に向けて協議す
ることとなりました。

また、総会の席で、長期勤続の十
一名の方（別掲）が職員表彰を受け
られました。

総会後、八幡市民図書館の澤田館
長をアドバイザーに、井手町、綾部

市、峰山町、亀岡市、ライトハウス
の五館の報告をもとに交流協議を行
いました。（文責：事務局）

平成六年度表彰

野口 和子（京都市中央図書館）	畠 英光香（同 伏見中央図書館）	植田 貴子（同）
若山 浩子（同 洛西図書館）	高坂 邦男（向日市立図書館）	森田 晖（宇治市東宇治図書館）
山村 溫子（宇治市中央図書館）	川畑 修子（城陽市立図書館）	鵜飼 弘子（亀岡市立図書館）
川上 元（京都府立図書館）		

理事会報告

本年度第一回理事会は、五月十三日
に開催されました。本年度は二年任
期の役員改選の年にあたり、会則八
条に基づき新理事を確認し、理事の
互選により新会長及び副会長を選出
したのも次の議事を協議承認しました。

- 総会議案・被表彰者
- 新規加盟（山城町図書室）
- 三専門委員会委員長

（追）六月一日付で京都府の人事異動
があり、顧問の府立図書館長をは
じめ宇治市、田辺町選出の理事及
び相互協力委員長、広報委員長が
変りました。

又事務局長及び事務局員も變り
ました。

平成6～7年度役員等紹介

～平成6.6.1現在～

事務局長	顧問	監事	理 副 会 長
田中かず子（京都府立図書館）	河崎雪雄（綾部市図書館）	入柿工美（久御山町立図書館）	高向洋祐（亀岡市立図書館）
森森野正己（京都府立総合資料館）	北尾辰雄（福知山市立図書館）	橋木實（宮津市立図書館）	下戸明夫（峰山町立図書館）
北川恵三（京都府立図書館）	太田至郎（京都府立図書館）	高木多喜男（京都府立図書館）	村上敏明（京都府立図書館）
荻野善之（京都府立図書館）	新林芳男（京都府立図書館）	新林芳男（京都府立図書館）	新高木多喜男（京都府立図書館）
（新設）	大江町図書館	園部町立園部図書館	新高木多喜男（京都府立図書館）
	旧高木一茂（井手町図書館）	旧高木一茂（井手町図書館）	旧柴田實（京都府立図書館）
	新小嶋晋進（井手町図書館）	新斎藤喜代治（宇治市中央図書館）	新高木多喜男（京都府立図書館）
	旧木下萬吉（井手町図書館）	旧田中重次郎（和知町ふれあいセンター）	旧前田泰宏（宇治市中央図書館）
	新伊藤友二（井手町図書館）	新野間重次郎（和知町ふれあいセンター）	新山崎隆男（宇治市中央図書館）
	新藤茂（井手町図書館）	新田中喜代治（和知町ふれあいセンター）	新山崎隆男（宇治市中央図書館）
	新吉進（井手町図書館）	新田中喜代治（和知町ふれあいセンター）	新山崎隆男（宇治市中央図書館）

本年三月以降、加盟館において次
のとおり館長異動がありました。

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

ニュース・News・ニュース

井手町図書館オープン

井手町のまちづくり推進事業により建設された、住民待望の町立山吹ふれあいセンターが、七月十四日開館しました。三階建のふれあいセンターは、延床面積一、四八七m²、

一階の図書館は六二二m²で、生涯学習の拠点となる複合施設です。

図書館の主な面積は、約三万冊の図書を開架する三七〇m²のフロア、二万冊以上の資料を収蔵する四八m²の電動密式書庫、他にロッカーリ、車庫等専用部分八〇m²、風除室・展示ロビー等共用部分一二四m²となっています。

開館当初の資料は、一般図書一四、六〇〇冊、児童書九、九〇〇冊で図書は二四、五〇〇冊、視聴覚資料はVTR、LDなど一、二二四タイトルと多くおいています。

図書館での資料管理は、パソコンコンピュータで行っています。

主装置一台、カウンター端末機一台、利用者端末機二台、ハンデーターミナル二台を保有し、日常業務の処理が迅速、

正確で利用者にも大変喜ばれています。特に利用者用の二台はタッチパネル式ディスプレーでだれでも手軽に検索できるとともにコンピュータ

図鑑の読み取り(CD-ROM)や全国出版情報の検索、イメージスキャナーによる映像も可能な最先端機種です。

これらのコンピュータシステムは

今後の図書館サービスには不可欠ですが、利用者がコンピュータを身近に感じ、気軽に利用するために、人口一万人以下の町村では数少ないコンピュータ図鑑を二十一タイトル揃えています。効果は抜群で二台の端末機はフル回転しています。

開館から八月末まで、登録率一七%、貸出人数九千人余、貸出冊数一二、七八四冊、開館日数四十一日で二四m²となっています。

開館当初の資料は、一般図書一四、六〇〇冊、児童書九、九〇〇冊で図書は二四、五〇〇冊、視聴覚資料はVTR、LDなど一、二二四タイトルと多くおいています。

図書館での資料管理は、パソコンコンピュータで行っています。

主装置一台、カウンター端末機一台、利用者端末機二台、ハンデーターミナル二台を保有し、日常業務の処理が迅速、主装置一台、カウンター端末機一台、利用者端末機二台、ハンデーターミナル二台を保有し、日常業務の処理が迅速、

図書館めぐり

峰山町立図書館



公共図書館として、所蔵する震災資料や歴史資料、蔵書等、丹後一円の人々にも利用され、文化ゾーンの一機能を発揮してきました。町の人口一万四千余、図書館貸出登録者数二千名、貸出冊数六万八千冊(H5統計)利用者の八割は顔と名前が館員側でわかるという、まさに田舎の町ならではの図書館です。平成三年から十六の地区へBMの運行も始めました。又、図書館として、毎年、町内小中学生を対象に実施している「読書感想文募集」も、今年で第三十五回という歴史をもつて、地域と共に、地域に奉仕する図書館として懸命に頑張っています。



KTR峰山駅を下車すると、左前方に小高い丘が見え、その丘の上に府立丹後文化会館と峰山町中央公民館があります。この丘上の中文化ゾーンを形成しています。この丘は弥生環濠遺跡で有名な「扇谷遺跡」です。峰山町立図書館は、この丘上の中央公民館三階にあり、「古代丹波王国」の中心の地ともいわれる地域を眼下に眺望することができます。

図書館がこの場所に移ってきたのは昭和五十五年ですが、開設は昭和二十七年で、以後、丹後震災記念館等を経て現在地十五年目です。

峰山町立とはいえ丹後六町唯一の

専門委員会ニュース

〔研修研究委員会〕

委員長

村上 敏明

京都市向島図書館

委員

梅原 武

京都市左京図書館

斎藤 隆司

長岡京市立図書館

田中 芳子

城陽市立図書館

森本 三貴子

久御山町立図書館

出口 宏子

八幡市立八幡市民図書館

藤井 洋子

田辺町立中央図書館

生澤 誠一

木津町中央図書館

坂田 智子

加茂町立図書館

鵜飼 弘子

亀岡市立図書館

河田 美奈子

舞鶴市立西図書館

下戸 明夫

峰山町立図書館

矢部 弘毅

京都ライトハウス点字図書館

河原 忠
京都府立総合資料館
西村 隆
京都府立図書館

〔相互協力委員会〕

委員長

岡田 友明

京都府立図書館

委員

小川美恵子

京都市中央図書館

岡野 英彦

向日市立図書館

平田 浩三

八幡市立八幡市民図書館

北川 智子

木津町立中央図書館

神田 厚

亀岡市立図書館

谷 義明

福知山市立図書館

岡本 知子

宮津市立図書館

小林 育子

京都府立総合資料館

〔広報委員会〕

委員長

小山 雄一
宇治市中央図書館

藤原 孝子

宇治市中央図書館

原田 正彦

京都市向島図書館

寺島 隆司

舞鶴市立東図書館

宇野 亜紀

田辺町立北部住民セ

比嘉 雅子

ソターレ図書室

京都府立総合資料館

山田 泰代

京都府立図書館

◎相互協力委員会より

N T E D は図書館間の相互協力活動の要として重要な役割を担っています。しかし、この半年間の実施状況を顧みますと達成率の問題など幾つかの改善すべき課題もあります。今年度は「W A N T E D」を定着させるために、実態調査の検討を始め、相互貸借事業について担当者間の交流会も計画しています。

今後の段取りとしては相互協力の推進を図るために、年内に委員会を開催し、事業の具体化について協議します。

平成六年・七年度の研修研究計画の検討のため、さる十月五日田辺町立中央図書館で、研修研究委員会を開催いたしました。

今年の総会でも、職員研修の大切なことが強調され、今年も一泊研修を開くことになりました。この一泊研修をより充実し内容にするために、委員会では、目下検討中です。

二月上旬を目途に考えております。関係各位のご協力をお願いします。

さらに、児童奉仕などのグループ活動も平成六・七年にかけて具体化を図るよう取り組んでおります。

(追) 一泊研修予告
二月二日(木)、三日(金)に八幡市内に開催を予定しており、主なテーマとしては資料選択、業務改善などを検討協議中です。

◎広報委員会より

九月九日に宇治市中央図書館で第一回の会合をもちましたが、次のことがらを確認しました。

- 会報の年三回発行を踏襲する。
- 会報の使命は情報提供と会の活動記録である。
- 会報紙面の主構成と記事取材編集の分担。
- 次回は十一月二十五日に、府立総合資料館にて開催。

編集子

「京図連」、「京図協」の二通りで呼ばれている当協議会の略称、いつそのこと「京図連協」と統一すればどうでしょう。広報委員会ではすでに使用していますよ。

